

令和7年11月18日(火) 白川小学校(5年生)

玉ねぎ生産者との

給食交流会

給食会たより

令和7年度 第8号

(公財)熊本市学校給食会

R7.11.20 文責:上島

北海道(北見地区)で玉ねぎを生産している方々を招いて、白川小学校にて給食交流会を開催しました。熊本市の学校給食では、例年、北海道北見地区の特別栽培で生産される玉ねぎを使用しています。今回は、5年生を対象に総合的な学習の時間を利用して、玉ねぎを特別栽培で生産している状況や環境にやさしい取り組みの様子について学習を進めました。

農業と環境

～未来のためにできること～



北海道の主な農産物生産物



グループワーク

「自分たちでできる、みんなと地球にやさしい行動」を考えよう



不必要なごみを減らし、分別を行い、二酸化炭素ガスの発生を抑え、温暖化防止に努めます。

節電・節水に心がけ、浮いたお金を寄付して環境活動に役立てたいと思います。



北見の玉ねぎは特別栽培

特別栽培とは？

通常は、

- 「野菜」を大きく育てるために、肥料を与えます。
- 「野菜」に光がよく当たるように除草剤を撒きます。
- 「野菜」が病気になるように殺菌剤を撒きます。
- 「野菜」に虫がつかないように殺虫剤を撒きます。

しかし、肥料や農薬を使い過ぎては環境に悪い影響を与えます。

北見地区の玉ねぎは

(安全で安心できる野菜を作るために)

可能な限り農薬や肥料の使用を少なくし、バイオ炭を使って温室効果ガスの原因となる物質を土壌に閉じ込めたりしています。



農薬も肥料も法令基準値の半分以上です。

※農薬を使い過ぎると・・・

- 益虫まで死んでしまいます。
- 川や海が汚れます。
- 土の中の生物が減ってしまいます。
- だんだん農薬が効かなくなります。

※肥料をやり過ぎると・・・

- 養分が流れ、川や湖で藻が増えます。
- 一酸化二窒素というガスが発生します。
- 土の酸性化が進みます。

自然に優しくない取り組みは、周囲の環境や人の生活に影響を及ぼします。

森林が酸素を作ってくれるので、緑を増やす活動や温室効果ガス削減に協力します。



※最後は、3クラスに分かれて、子供たちと一緒に給食を食べられました。